

科目	生活情報論	担当	山田 正人	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位
<p><b>【授業目標・到達目標】</b>          普段の生活が、ネットワークに援用されていることを学ぶ。ITがスマホの登場によってCommunicationが重視されICTとなった。このことが実際の生活にどのように影響をおよぼしたかを見てゆく。          無線で操作できる装置リモコンが、又、自宅の机の上からICTに接続できるタブレットやPC、スマホ(スマートフォン)・携帯電話もある。IoTのなかでスマホ・携帯電話、ICTの考え方が、どう活用されているか見る。日本のICTの未来はIoTへ進もうとしている。モバイルとユビキタスが携帯電話とスマホで実現されたことから、IoTで実現できるであろうことを学ぶ。          生活の中で、IoT製品が使えるようにすることが目標である。また、ネットワーク・家電製品が取り扱えることは必至の目標である。</p> <p><b>【履修注意】</b>          教職「情報」志望学生は、必修である。2年生を想定して講義をするが、3、4年生も受講できる。授業中にはノートをとりなさい。(テストの折、自筆のみのノートについては持ち込みを認めている)</p> <p><b>【評価方法】</b>          テストは、100点満点のうち、10点は受講した感想である。          授業時の平常点は、最大10点相当を充てて加点している。          講師の持ち点も、最大10点相当加点することがある。          テストは、少なくとも2回ある。期末テストの点数をもとに、中間試験の点数を考慮して決める。</p> <p><b>【試験について】</b>          持ち込み物件: 自筆のみのノート          再テスト対象者: 4年生で、40点以上のものについては対象者として考えている。</p> <p><b>【予習・復習】</b>          授業中にノートをとりなさい。(自筆のノートを作ることが復習にもなる)</p> <p><b>【教科書】</b>          スライド(PPT)をWBTで配布する。</p> <p><b>【参考書】</b>          配布印刷物が時折ある。</p> <p><b>【その他の注意事項】</b></p> <p><b>【授業計画・内容】</b>          1-4 ネットワークは暮らしの中にある(ネットワークインフラストラクチャ)          1. ネットワークとは何か(家の中のネットワーク論)          2. ネットワークは無線化できる。          3. 街の中のネットワークはどのようにつながれているの?          4. 街の中でネットワークはどのように活かされているの?          5 中間まとめ1          5. 「我々の生活の中のネットワーク」のまとめ          6-9 移動体通信論 (ICTのCはCommunication)          6. 移動体通信は自動車電話から始まった(ポケベル、PHSはいまだ使える?)          7. 第4-6世代の移動体ネットワーク          8. スマホとタブレットは画面の大きさが違うだけ?          9. 自動車電話はどうなった (ITS:高度交通情報サービス)          10 中間まとめ2          10. 「移動体通信」のまとめ          11-14 次世代ネットワーク(モバイル・ユビキタス・クラウド、そして)          11. 白黒家電製品から デジタル家電・ネットワーク家電          12. ブロードバンドネットワークとテレビ放送(4K、8K)の今後          13. 医療・福祉とネットワーク(福祉ってなに?)          14. IoTとBigDataとセンサー          15 総まとめ          15. 「次世代ネットワーク」のみならず、「我々の生活の中のネットワーク」も「移動体通信」もまとめます。          16 期末テスト</p>					